



うすい



佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 近藤熊吉 編集 広報事業部

新しいふれあいの風 ~100円喫茶サロン開催~



3/3 うすい荘班 参加 37名



3/3 ニッコー班 参加 79名

いぎいきサロン(うすい荘班)レポート

弥生3月、春日和。雛祭りでもある3日、うすい荘では第3回生き生きサロンが行われました。

参加者37名の笑顔の中、丹伊田いぎいきサロン部長の挨拶に始まり、鳥副会長による中宿を中心とした「うすい」の歴史の話、折り紙教室(寸むずかしかったかな)、健康体操そしてカラオケと盛りだくさんのメニューで、午後のひとときはあっという間に過ぎてしまいました。

終了は定刻の3時30分を10分程度オーバー。参加者の方は、次回も楽しみにしているからとスタッフに声を掛けながら、三々五々帰られました。

(武藤)

「各地区で特色あるサロンを」

本年度第3回の100円喫茶サロンが各地で開催されました。稲荷台班は体を動かす健康体操と歌、ニッコー班は大声を出していただくことと歌声喫茶、うすい荘班では臼井の歴史のお話、折り紙、健康体操など盛りだくさんの催しを行いました。

今回はそんなサロンが開かれるまでをグラフィティで紹介します。(モデル 稲荷台班)

次回へのアンケート
今後の開催について、
ご意見を伺いました



閉会ご挨拶と反省会
後片付けの後、反省会で
次回への課題を検討

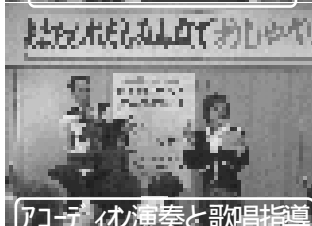


* 次回も皆様のお越しをお待ちしています

いよいよサロン開催
会長挨拶のあと、健康体操
休憩を挟んでアコーディオン演奏に合わせたの歌



健康体操



アコーディオン演奏と歌唱指導

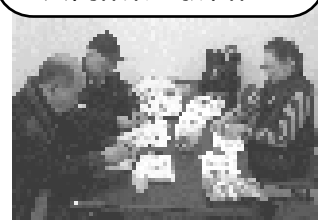
当日の会場作りと準備
会場の力仕事は男性
中のセッティング女性
が担当。会場準備は午前
中から、厨房では今回のお
茶、お菓子をチェック



サロン打ち合わせ
何を行うか検討する
会議。今回は健康体操と
アコーディオン合わせた
の歌に決定



歌集、春の新春追加作業
季節感を出すために、今
までの歌集に新曲を追加
ニッコー班、うすい荘班と
の共同作業で歌集作り



稲荷台サロンが開催されるまで

* 19 年度白井地区社協活動報告 *

19 年度活動総括

会長 近藤熊吉

19 年度は 4 つの事業部で集中的に活動をしました。まずいきいきサロン事業部では、3 つのグループに分けてそれぞれの特色を反映させることを基本とし、工夫とアイデアを追求しながら、計 9 回実施しました。百田玉一個を持って「お世話になります」と来られる高齢者の顔と顔には嬉しさがにじみ出ていて、一人一人の反応が顕著に伝わってきました。継続させていくことの意味を強く感じさせられました。今後もしいきいきサロン事業の一層の拡充を目指し、町会、自治会の継続的応援と福祉委員の努力を求め、高齢者とともに地域ネットワークを築き上げていきたいと思えます。

児童福祉部の活動では、2 つの支援活動と 1 つの白井地区社協主催活動を行いました。

支援では白井地区住民会議主催で児童を対象とした「軽スポーツ大会」と「老幼の館まつり」に参加、児童と大人との交流、地域への P R について一定の役割を果たせたと思えます。

主催した「秋の芋掘り大会」は 150 名程の参加者があり盛況でしたが、今後は芋掘りだけでなく、それに付随して親子間、世代間共通で出来る学習を取り入れるなど、厚みのあるイベントにした方がいいという反省点もありました。高齢者福祉部では「ひとり暮らし高齢者昼食会」を 2 回行いました。飽きの来ない嗜好を凝らした形で進めることができたと思えます。

また施設訪問に伴い施設の状態把握、学習なども身に付けることができました。

広報活動については、懸案だったホームページの開設が実現し、新しい正確な情報を漸次発信する体制ができました。

19 年度においては幾つかの課題が発生しましたが、前向きに取り組んで行くべき考えを新たにしています。

いきいきサロン事業部

いきいきサロン事業部は今年発足した事業部で、高齢者への対応策として始められました。白井地区を稲荷台班、つすい荘班、ニッコー班と 3 ヶ所に分け、それぞれ 3 回ずつ、計 9 回の 100 円喫茶サロンを開催しています。

このサロンの目的は、高齢者の誰もが気楽に立ち寄り、お茶を飲みながら自由なお喋りと仲間づくりが出来るところ作りでしたが、終わってみるとそれぞれの地区で特色あるサロンになったようです。

稲荷台班の会場は目立たない場所でしたが、入口に花で飾った門を設置、きつい坂道も福祉委員が手助けするなど、集客に力を入れました。

内容も好評だった健康体操を中心に、手品や歌などを実施、回を重ねる毎に参加者を増やしました。

つすい荘班は、毎回趣向を凝らしたプログラムを考え、白井の昔の話、健康体操、ハーモニカに合わせた歌、折り紙、カラオケと、多種多様な催しを行いました。第 2 回の開催日は生憎台風になりましたが、そんな中でも「楽しみにしていたから」とわざわざ足を運んでくださった方もいたほどです。

ニッコー班は歌が中心でした。毎回アコーディオン演奏やキーボードに合わせて、休憩時間も惜しむくらい歌いました。最初は小さな声で歌っていた方も、最後はかなり大きな声になり、時間ギリギリまで熱唱、まさに歌声サロンでした。

こうしたサロンは地域の方々のご支援が必要です。みなさんのご協力やご参加を得るためにも、今後福祉委員は地域での目配り、気配り、心配りの思いやりを忘れず、その人その人の立場になれる、聞き上手、相談しやすい人として地域の福祉の活性化に頑張りたいと思えます。(丹伊田)

高齢者福祉事業部

本年度は高齢者や障がい者のいきいきづくりに努めました。地域住民の方々と交流を図り、地域のニーズに合った住民流福祉を目指して各事業部と協働して福祉事業に取り組み、みなさんのご協力で目標はほぼ達成する事が出来ました。

ひとり暮らし高齢者を招いて昼食会を「いきい荘」にて開催(6/6・11/11)

今年度は食事に關するアンケートを参加者にお願いしました。今後の活動に反映させ楽しいイベントにしていきたいです。

また高齢化が一段と進み、食事会利用者が年々減少傾向にあることから、対象者の見直しも急務だと思われま。

今後は各地域で開催の「いきいきサロン」の参加も呼びかけ、いきいきづくりの一層の充実を図ってきたいと思えます。

福祉施設見学と懇談会を実施(6・3月)

「さくら苑」「佐倉ホワイエ」「さくら風の村」

施設の見学と懇談会で「介護について」「福祉のあり方」を勉強しました。

障がい者障がい施設の見学イベント支援と友愛訪問を実施(9月・10月)

「千手園 2007 フェスタ」「オリオン祭り」

イベントの手助け、友愛訪問をしました。

見守りネットワーク情報分析と高齢者福祉サービ

ス(高齢者安心カード)の普及推進

地区社協主体と協働事業「白井ふるさと」にぎわい祭

り「出店 八幡公民治会イベント支援

「愛の箱」募金活動(詳細は 3 ページ掲載)

今や、地域の福祉は益々複雑多岐にわたります。住民の視点に立つて、これからも地域の自治会、町会と協働して事に当たり安全で安心なまちづくりを目指して事業の推進をしていくことが必要と思えます。

児童福祉事業部

平成19年度は、二世交代交流事業と地域行事の支援を行ないました。
三世交代交流事業

地域のお年寄りと子どもたちが自然に懇談し、交流することを目的に二世交代交流のための事業を行いました。

・8月28日印旛沼屋形船体験(残念ながら中止)

・11月3日親子体験教室「いもほり会」

地域の行事支援

子どもたちの健やかな成長に欠かせない様々な地域行事に参加しました。

・6月10日 臼井地区軽スポーツ大会支援

・10月27日 老幼の館まつり支援

行事に全く参加しない(又は参加できない)子どもたちをどのように参加してもらおうか等問題はいくつかありますが、子どもたちの健やかな成長を願って事業を行いつつ、様々な人々との関わりを持ちながら、「コミュニケーション」が膨らんだ一年だったと思います。
(岡野)

広報事業部

今年度は、一昨年来検討してきました臼井地区社会福祉協議会のホームページを昨年11月1日に開設致しました。

年間3回の広報紙では、発行時期や紙面の関係から地区社協、或いは各部会の情報や活動を十分お伝えすることが出来ませんでした。11月以降は、地区社協及び各部会の活動状況は2、3日後にはホームページでお知らせしております。広報紙のように紙面等の制約もありませんので、多くの写真や関係する情報も追加して掲載しております。ホームページ開設によって、今まで地区社協や各部会活動の状況をご存じなかった方々にも、臼井地区社協を知っていただく機会が出来たのだと思っております。しかし、残念なことにごなたにもホームページをご覧になって頂くという事は出来ませんので、広報紙の方も今まで以上に充実した紙面作りをしていきたいと思っております。

その他、広報部の活動として臼井地区社協及び各部会活動として100円喫茶サロン・敬老会のポスターやチラシ作成等も行ってあります。

来年度も広報紙・ホームページともより充実した記事を掲載していきたいと思っております。
(八田)

臼井地区社協活動報告

本年度、その他の活動を報告致します。
救急救命心肺蘇生法の講習(2月16日)
愛の箱回収(2月16日)
イエローレシートキャンペーン結果報告(2月)

救急救命心肺蘇生法講習会

2月16日、今年も救急救命心肺蘇生法講習を受講。今回もAEDの使用法や人工呼吸の方法など3つのグループに分かれ、体験しました

愛の箱

本年度(19年3月~20年2月)は設置15箇所とイベント(夏祭りなど)で合計38,286円のご協力をいただきました。

募金は敬老会などの臼井地区社協活動に有益に使わせていただきます。

ありがとうございました。また、愛の箱設置場所も募集しています。ご協力いただける店舗・病院がありましたら、うすいセンターまでご一報下さい。

(*うすいセンターの電話番号等については4面をご覧ください)

ジャスコ・イエローレシートキャンペーン

毎月11日、ジャスコでは黄色いレシートを発行しています。そのレシートを1Fに設置している各団体の箱に入れていただくと、合計額の1%相当の商品を受け取ることが出来ます。

今回は、19年9月11日~20年2月11日までの半年間で、1,872,363円のレシートをご投函いただきました。その結果18,700円相当の商品を頂けることになりましたので、20年度の100円喫茶サロン用の紙コップ、お茶、コーヒー、紅茶等を申請致します。ありがとうございました。今後も引き続きご協力をお願い致します。なおイエローレシート発行は毎月11日ですが、投函はいつでも構いませんので、ぜひご協力頂きますようお願い申し上げます。



救急救命心肺蘇生法講習



愛の箱設置場所

- * 稲荷台郵便局
- * うすい歯科医院
- * うすいセンター
- * うすい荘
- * 臼井田自治会館
- * 臼井郵便局
- * 太田堂
- * スーパータイヨー佐倉店
- * ニッコー会館
- * 八幡台会館
- * ファミリーマート
- * ブランドール
- * 丸新クリーニング
- * ヤマトヤ本店
- * 渡辺商店 (アイウエオ順)

* 学校での福祉活動を
紹介していただきました

王子台小学校の福祉教育について



王子台小学校では、5年生になると総合的な学習の時間に福祉について自分のテーマにそって1年間を通して体験や調べ学習を行います。その活動について紹介します。

主として王子台小学校の学区の介護老人保健施設「敦敦」に年4~5回ほど訪問してお年寄りの介護についての理解と交流目的で行います。今年度は4回程訪問しました。

第1回目の訪問として昨年7月17日に5年生全員で「敦敦」を訪問して私たちの王子台小学校を分かってもらうために紹介文と合唱とリコーダーの演奏を披露して交流や施設の見学を行いました。

第2回目は10月2日に「敦敦」の職員の理学療法士の方から車椅子について説明をしていただいたり体験をしたりしました。その中で実際に車椅子を体験したことにより車椅子の大変さや手助けの必要性を体で感じました。その後、施設のお年寄りとお喋りや持参したカルタやお手玉での遊びを行いました。

第3回は11月6日に前回の反省からお年寄りとは話をするときは大きな声でゆっくり話すこと、をしっかりと心得て、施設のお年寄りの皆さんとのコミュニケーションを深めました。

また、職員の方からお年寄りとの接し方について学びました。その中で、特にお茶などの水分をうまく飲めない方のための「とろみ」をつけたお茶について説明していただき、実際に飲ませていただきました。普段何気なく飲んでいたお茶が年をとると飲みにくくなることに驚くとともにお年寄りには細やかな配慮が必要なることに気づきました。

第4回目は12月4日に実施しました。やっと子どもたちも施設のお年寄りの方と顔見知りになりコミュニケーション能力もたかま。和やかな雰囲気の中で訪問が出来ました。そして職員の方から「入所者(高齢者)の食事について」講義をいただきました。おかゆやおかずをミキサーで細かく、やわらかくした「ミキサー食」は、一人一人の健康状態にあわせて、量ややわらかさが細かく決められていました。入所者全員を把握し、それぞれにあった食事を毎食考え、正確に提供するきめ細やかさに改めて感心しました。



その他の体験では、佐倉市社会福祉協議会の方にお世話になり、聴覚に障害のある方を迎えての手話や、視力に障害のある方を迎えての点字学習などについて学びました。

子どもたちはこのような学習を通して、障がいのある方への理解と社会での共生について学びました。このことについては、今年の総合的な学習の時間の発表会2月23日(土)に5年生児童の個々が、福祉について体験したこと、調べてわかったこと、感じたこと、疑問に思ったことなどを発表し、個々の福祉のあり方について考える良い機会となりました。

(王子台小学校 教頭 小山 成志)

* ご意見はうすいセンターまで *

「うすいセンター」(臼井・王子台・臼井東地区社協合同事務所)

臼井地区社協担当日は

毎週月曜日・木曜日

開館時間 午前9時半～

午後4時半まで

(12時～1時は昼休憩です)

住所: 佐倉市王子台1-23

レイクピアウスイ3階

電話: 043(462)0743

メールアドレス&ホームページ

・ center-usui@catv296.ne.jp

・ http://www.catv296.ne.jp/

~ usuisyakyō/

* 編集後記 *

自治会の仕事を引き受けて1年間は満たず、当り職と言つとお叱りを受けますが福祉委員に任命され、ついには理事まで引き受ける羽目になりました。

勤めを退職し、満身創痍とは言いませんが静養がてら5年ほど隠遁生活をしてきた中、正直な話福祉協議会と言つ会は私にとって雲の上の存在でした。

委員の皆さんの濫利としたお姿を拝見すると敬老会・市の委託事業(このこと)ふるさとまつり、いきいきサロウ等各事業部会における無報酬でのボランティア活動に生き甲斐を感じていることに脱帽する次第です。

臼井地区社協について委員の皆様方のご理解を頂けるよう、念願のホームページを立ち上げることが出来ましたので、これからもPR活動に広報部としてより一層活動して参ります。

(む)